

令和6年度第2回君津市図書館協議会会議録

■ 開催日時 令和6年10月21日（月）午前10時00分から

■ 場 所 君津市立中央図書館201会議室

■ 出席者

【 委 員 】						【 事務局 】	
富田	嘉孝	委員長	成清	奈穂子	委員	高橋	中央図書館長
鈴木	紀子	委員	隅越	裕子	委員	小野寺	副館長
田中	雅子	委員	鳥井	直哉	委員	大野	係長
						田口	主任主事

■ 欠席者 池田 祐一副委員長 佐藤 美恵委員 柏 文子委員

■ 公開または非公開の別 ☒ 公 開 ・ ☐ 非公開

■ 傍聴人 1名

■ 議 題

（1）報 告 令和6年度図書館事業の進捗状況について

（2）その他

議長	只今の出席委員は6名です。君津市図書館条例第6条の2に規定する定数に達しており、本日の会議が成立することをご報告いたします。 本日は1名、傍聴される方の申し出がありました。今から入室していただいてよろしいでしょうか。 (傍聴人入室) また、本日の会議は君津市審議会等の会議の公開に関する規則に基づき公開となっております。会議録には発言者の氏名、発言内容等を記載して後日君津市のホームページに公開いたしますので、ご了承ください。
(1) 報告 令和6年度図書館事業の進捗状況について	
議長	それでは議事に入ります。 本日の案件は、報告が1件でございます。 本日の会議につきましては、諮問がございませんので、委員の皆さんからご意見を伺うことを目的としております。 まず、令和6年度の図書館事業の進捗状況について事務局の説明をお願いします。
事務局	(事務局より説明)
議長	事務局の説明が終わりました。 委員の皆さんは報告書の内容を確認中ですので、このアンケートの結果、図書館として疑問に思ったことやお気づきの点があれば、挙げていただければと思います。
事務局	市民体育館アンケートは、利用状況を調査して、今後の図書館サービスに活用させていただくために、実施しました。 総合的に見ると、各世代や曜日の利用状況に大きな違いがあることがわかりました。平日の早い時間はシニア世代の方が徒歩や自転車で、土曜・日曜は親子連れがイベントのついでに来館されていることがアンケートでも示されました。 また、図書館の開館時間については、遅くまでという意見よりも、早く開けて欲しいという意見が多かったのが特徴的でした。
議長	ありがとうございました。 今、事務局から説明がありました開館時間について、早めて欲しい、遅い時間は閉めても良い等、そのような意見はございますか。 金曜日は長く開館していますが、それは職員の勤務時間も関わってきますので、そういった観点からも考えていただければと思います。
事務局	アンケートの結果をもう少し詳しく説明させていただきます。 まず、先ほど申し上げました通り、市民体育館のアンケートはインターネットではなく、実際に来ている利用者に対して、1人1回の回答として1か月間実施しました。 年代はバラつきが多く、60代以上の方が約4割、地域では君津地区在住の方が多く、ほとんどの方が徒歩か、自転車で来館されています。自家用車の利用は、土日やイベントのついでに来られた場合がほとんどでした。

	利用率については、月 1 回以上定期的に使われる方が全体の 5 割ほどでした。 中央図書館との大きな違いとして、滞在時間が短く、利用時間が 30 分以下との回答が約 7 割ほどでした。午前 10 時から午後 1 時までの時間帯での利用が半数ほど、また、平日は 1 人での利用が多いです。 市民体育館利用のついでに分室を利用するという方は、思いのほか少なかったです。
議長	内箕輪の体育館や公園利用者のことですか。
事務局	そうです。公園や体育館利用目的の方で、図書館も利用する方が少ないという結果でした。また、中央図書館と市民体育館は 3 km ほどの距離ですが、アンケートの結果から、150 人の回答中 100 人近くが中央図書館を利用しているということがわかりました。 ご意見ご要望としては、分室だと所蔵されている本が少ない、入れ替えの対応をして欲しいというお声をいただいています。
議長	分館のみを利用しているという方は、少ないと考えてよろしいでしょうか。分館を利用している方は、中央図書館も利用している場合が多いということですね。
事務局	以前は、中央図書館で借りた本を最寄りの分室で返却するという利用方法が多い印象でしたが、今はインターネットで予約できるようになり、取り寄せて利用される方が増えてきました。
鳥井委員	ここでの質疑は、利用者の方を増やすという意見を求めているということではよろしいでしょうか。
事務局	コロナ禍が明けてから、分室を含む図書館の利用人数が減っている一方で、今後、効率的な運営を図っていく必要があり、開館時間を伸ばすよりも縮小の方向に考えていかなければならない状況です。 そのなかで図書館のサービスのうち、これは残したほうが良い等、ご意見があれば伺いたいです。
鳥井委員	利用者の高齢化は否めないと思います。 団塊世代の方々は、徒歩や自転車がほとんどですが、高齢になると自転車も危なくなり、そうすると移動手段が徒歩となり、利用したいのに行く手段がないという方がいらっしゃると思います。 そのような方の利用方法について模索していきたいですが、開館時間は日中なので、現役世代が連れてくることも難しいです。 ただ、開館時間というのは、職員の出勤している時間で、現役世代もその時間帯に来られないですから、使ってもらうか諦めてもらうかということにも触れていかないといけないですね。 先ほどの話で予約本をレンタルできるということも良いなと思ったのですが、この仕組みを知らない方がまだ多いのではないのでしょうか。久留里や小櫃等の遠い地区に住んでいる方は、分室の蔵書数が少ないと考えて、そもそも足を運ばなくなってきたかもしれません。

	図書館で行っているサービスを、各地区で宣伝したらもう少し利用の増加に繋がるのではないのでしょうか。
議長	ありがとうございます。 皆さんの思っていること、小さなことでも問題提起してください。 他にご意見はございますか。
成清委員	市民体育館分室は子ども向けの本が充実していて、おはなし会では中央図書館で借りるより分室で本を探すようになっていきます。 中央図書館だけでなく分室でも、おはなし会等の子ども向けのイベントを催したら、親子で足を運ぶきっかけになるかもしれません。 イベントを開催するのは、大変だとは思いますが。
議長	子どもの頃から本に親しむ習慣がだんだん無くなってきていることを実感しています。 他の情報媒体が増えてきましたが、本から得る情報と、スマホ等から得る情報は、違う形でインプットされるのではないかと感じています。
隅越委員	子ども向けイベントを、生涯学習交流センター「こっこる一む」でボランティアで行っています。その中で、読み聞かせもやっていますが、親子での参加者がだんだん増えてきて、こういう子ども向けのイベントみたいなものがあれば、子どもと一緒に参加してみたいという声をいただいています。 君津市の子育て通信やLINEの情報をチェックして、家族で来られる方が増えてきていますし、夏休みの怖い話など、イベントのノウハウもありますので、子育て支援のグループでイベントのお手伝いをするような形でコラボして、活性化に繋がるのが出来たら良いと思います。
成清委員	亀山でも読み聞かせとか大きいイベントをやっていたので、同様に市民体育館とかで開催できれば、ボランティアの方々と協力して企画できるかもしれません。
田中委員	亀山少年自然の家で、毎年、一日だけの「森の童話館」という読み聞かせのイベントを開催していました。コロナ禍の時から中止になっております。 主催は生涯学習文化課だと思いますが、中央図書館とも協力して何かできないのでしょうか。すごい大きなイベントで、かなりの人数の子ども達が市内外から来てくれて楽しんでいました。また開催すると喜ばれると思います。
事務局	「森の童話館」を開催していたときは、図書館から移動図書館が出展していました。図書館カードがない方も、ブックモービルや、移動図書館の資料をその場で見ていただきました。 今後の計画については、確認します。
隅越委員	蔵書について、予算の問題もあると思いますが、蔵書のためのバザーやフリーマーケット等のイベントはできないのでしょうか。 いきなり大きなものは大変だと思いますが、コーナーのような規模であれば、本が好きな方で協力してくれる方がいらっしゃるかもしれません。
事務局	他の自治体等で事例があるかを調べます。事例があれば、第3回の協議会で紹介させていただきます。

田中委員	上総分室の職員の方に、新しい本の購入の際に意見を聞かれ、リクエストをお渡ししました。その後の経緯は伺っていませんが、学校での読み聞かせに使う大型絵本が分室に所蔵してあると助かります。中央図書館で予約して取り寄せさせていただいていますが、実際に手に取って見ないと良し悪しがわからないことがあります。
事務局	大型絵本の購入には、できる限りの努力をしていますが、ご要望は参考意見とさせていただきます。
議長	他に意見はございますか。
鳥井委員	予算縮小というお話がありましたが、例えば台風15号で被害を受けた時は、君津市がクラウドファンディングでトイレトレーラーを購入していました。お金がかかるものですので、クラウドファンディングを利用できないでしょうか。目標額も大きい数字でなければ、君津市の図書サービス向上に対して賛同する企業もあるかもしれません。
事務局	クラウドファンディングにより、移動図書館車両購入の資金を集めたという、他の自治体の事例があります。 トイレトレーラーの時は、被災時に市長が君津市にも必要と判断して、また他の自治体にも役に立つとのことで実施し、目標額を達成しました。 トイレトレーラーでは賛同者の名前を車体に記載したり、シールなどの返礼がありましたが、移動図書館でお返しできるものを考えると難しいかもしれません。 ふるさと納税の使い道などで、移動図書館車の購入を入れていただけると購入の早道になるかもしれませんが、クラウドファンディングも、ふるさと納税も政策的なことであり、大々的に募集をする場合、図書館だけでは実現できないと思われます。
鳥井委員	賛同された方が必ずしも見返りを求めている訳ではないですし、チャレンジしてみても、損はないのかなと思います。 これから先も予算が減っていくと思われますので、今のうちに何か考えていかないと、今後はもっと厳しくなっていくかもしれません。
議長	今以上に図書館の活性化を目指して、図書館に行きたいという気持ちを、もっと育てていけるようにしていただきたいです。 他には報告に対するご意見はございますか。
成清委員	移動図書館のステーションが32か所に増え、みふねの里の保育園も入ったと先ほど伺いました。今ブックスタートのボランティアをやっていますが、その中で図書館の利用について聞きますと、保育園で本を借りてくるという方が沢山いらっしゃいますので、移動図書館で保育園まで巡回していると、すごい利用が増えてくるのではないかと思います。
議長	ありがとうございます。他に意見はございますか。
(2) その他	分室に係る施設（公民館）の再整備について
議長	それでは次の議題に入らせていただきます。事務局から報告があるとのことですので、お願いします。

事務局	(事務局より報告)
議長	何か質問、ご意見はございますか。
隅越委員	既に実施された清和拠点の図書室は、どのような成果や課題があるか、伺えますか。
事務局	清和分室につきましては、なるべく新鮮な資料をお届けするよう、新しい図書を揃えています。移動図書館が2週間に1回巡回していますので、そのときに資料の入替などを行っています。 他の分室等と比べると利用数は少ないですが、近くに保育園がありますので、蔵書の構成を考えて資料を購入していきたいと思います。
隅越委員	環境的には、いかがでしょうか。
事務局	ロビーから入ってすぐのところにありますので、手に取りやすく利用しやすいのではないかと思います。ただ、入口に近いので落ち着かないという利用者の方もいらっしゃるかと思います。 なるべく多くの方に利用していただくよう考慮して、本の見せ方も工夫しているところです。
鈴木委員	清和在住ですが、清和の図書館分室は新しくなってから利用ができていません。前は図書室でしたが、今の分室は空間のような構造で、そこが図書館なのか迷いますし、清和拠点で用事があるため出入りはしていますが、あまり人を見たことがないです。公民館の職員の方に伺うにも、担当がわからないので、確認ができていません。 秋元小学校があった時は、誰もが入っていきやすい図書室になっていましたが、今は大人も子どもも見かけないです。受付が無く、自由に出入りできるため、職員の方も把握しにくいのではないのでしょうか。 気になっている仲間が他に数名いますので、活性化のためにボランティアでも何かしたいとは思っています。容易ではないと思いますが、チラシや通知等何らかの情報を発信していただきたいです。 やはり地域住民がしっかりしなければならないので、まずは自分から動いていきたいです。
議長	清和の施設はもったいないです。 開館式に参加しました。1階に喫茶店ができる予定だと伺っていましたが、結果として運営していないとのことです。 清和拠点は人が行き交っていない印象を受けましたので、図書館の分館として活用していただきたい。清和地域は住民の活動が活発と伺っていますので、もっと人が来られるようなシステムを作っていくことができれば、活用されると思います。
鈴木委員	清和地域は、住民が本当に活発に活動しています。 私は子どもの見守り隊のメンバーに参加していました。今までは清和小学校まで行って子どもを見ていましたが、今は旧秋元小学校で行っています。公民館の職員の方も情報を発信してくださっています。 清和地域には学童が無いので、やらなくちゃいけないという思いがありま

	す。図書室の活性化は自分たちでも何かやっていけるかなという気持ちがあります。
議長	ありがとうございます。その他に意見はございますか。
田中委員	小櫃、周南、小糸公民館が再整備されるということで、心待ちにしています。図書館機能の部分を見ますと、周南と小櫃は“図書コーナー”として1, 500冊程の蔵書とありますが、小糸では“図書室”として1万冊程と、その違いを伺います。人口で決めているのでしょうか。
事務局	平成31年3月に社会教育施設の再整備の基本計画を作成しまして、今まで、中央図書館があって、他にそれぞれ同規模な分室を設置するとしていましたが、地域を、君津、小糸・清和、上総・小櫃の大きく3つに分け、分室と図書コーナーとして再整備することとしました。 上総や清和と比べて、周南は中央図書館に近いとはいえ、実際は距離が離れていますので、何かを調べるには規模が小さいですが、予約本の受取などができる図書コーナーとしています。 小糸は現状の分室を維持、小櫃・上総につきましては、平成27年に新しくできた上総分室がありますので、内容を充実させていく方針です。 全ての図書館分室を同じレベルで充実させていくことは難しいので、図書コーナーは、蔵書を入れ替えたりしながら、予約本の受取や返却等を主な目的にした場所として考え、部屋ではなく、気軽に立ち寄れるようロビーに併設という形で進めています。
田中委員	コーナーということですが、テーブルや椅子はありますか。
事務局	内容は、今後の計画の中で変わっていくと思います。また、住民説明会等のような場でご意見を伝えていただく方法もございます。今回協議会の中でいただいたご意見は、図書館として担当課へお伝えします。
議長	ありがとうございました。その他にございますか。 ないようですので、これで議事を終了したいと思います。
事務局	ありがとうございました。 以上をもちまして、令和6年度第2回図書館協議会を終了いたします。